

平成 28年度統務産業建設常任委員会行政視察

平成 28年 7月 13(水) ~ 7月 15(金)

7月 13日 神奈川県海老名市視察

1. (スマートフォンによる観光情報提供事業について)

担当: 海老名市経済環境部商工課

海老名市観光事業概要

- 平成 3年 6月 海老名市観光協会設立
- 平成 26年 3月末 会長によるアクトで発展的解散
(自主財源が乏しく、市からの委託金への依存度が高かった。)
- 平成 26年度より 市が中心となり新しい形での観光振興(にぎわい振興)に取り組む。

- ・「えびな元気にぎわい検討会」設立。(委員 20名)
- ・「えびな元気にぎわい振興基本構想」を策定 平成 27年 3月
- ・「海老名にぎわい振興条例」検討し、制定。平成 27年度 同年 4月 1日 施行
目的... 市が持つあらゆる種類の魅力を活用し、集客力を向上させるための措置を定め、市内経済の持続的発展及び市全体の印象の画期的な向上に資する。

基本理念... 蓄既存のにぎわい資源を生かす。

- ・ 商業、工業、農業等、産業の発展に貢献。
- ・ 市民でありこの誇りにつながる。

- ・「えびな元気にぎわい振興計画(案)」
 - ・ 基本構想に基いて、さらに実行性が高い計画
 - ・ 計画期間: 5年 (H28 ~ 32年度)
 - ・ 具体的な事業を掲載
 - ・ 策定時期: 平成 28年 7月 予定。



アプリの主な機能は「にぎわいナビ」各種ポイント検索、ルート案内(音声案内も提供)「観光案内」お食事、買い物、お出かけにはな、公共施設、トイレ、Wi-Fiスポット、おむつ替え設備、授乳室、医療機関、コンビニ、AEDなど現在 1000件登録、大きな特色としては「防災ナビ機能」さらに全国初めて国策として進めている災害情報共有システム(リアルタイム情報)と連携し、安全安心な情報提供が可能となっている。また、今後の増加が見込まれる外国人観光客可能な5か国言語「日本語、英語、中国語(繁体・简体)、韓国語」に対応している。

今後の課題

「ダウンロード数を増やしていくこと」「掲載情報を最新のものに保つ」
ダウンロード数は 6月 現在で 4,586 であり、今後掲載店舗(特典(例): 画面を見せるとクーポンサービス等)を付与する事業や、本アプリをPRする事業(バックカバンを活用した広告)などを検討。掲載情報を最新のものに保つための年 2回を目途に、情報の確認作業の予定。

Date 7月14日 長野県 塩尻市 午後1時30分～約20分

人口 67,400人
平均気温 11.9℃

中1考査会場:

ワインの産地. 漆器の産地
(オリーブオイル)

視察事項 (センサーネットワークによる鳥獣被害対策について)

塩尻市小野地区が

- ・数年前からクノシシの食害により農作物被害が深刻化。
- ・平成23年度から「ICT街づくり推進事業」採択してセンサーネットワークを活用した被害対策に着手。

(対策の概要)

小野地区(耕地面積 27.5ha. 稲作中心. 典型的な中山間農地)
 現在確認 農地対策会議 → 区民一団となった対策 → グラミングで
 得た追い払い. 効率良い罠による捕獲

- ・檻アニマルセンサー → 携帯電話メール通報
- ・H23年度 85% の被害が H25年度 0% の結果が出た。
- ・太陽光で稼働する為場所を自由に移動可能。
- ・檻も民に捕獲され. 猟友会が効率良く. 活動できた。
- ・他にもニホンザルにもビーコン発信機をGPS首輪セットする。(Xザル)
居場所を突止止め 年一回駆除する。
- ・檻用 → 20万円, (くり)センサー → 185万円. サル用 → 20万円.
- ・捕獲駆除数: ノシシ 41頭. ニホンザル 41頭.
- ・捕獲後の埋設地不足が生じている。

白石市へ解体所に納められていた。

Date 7月15日 長野県 上田市

午前9時30分~11時30分
会場 上田市役所庁舎5階
第3会議室

上田市概況

人口	159,460人 (H28.4.1)
世帯数	66,420世帯
平均気温	11.8℃
降水量	約900mm
面積	552km ²

- [1] 1. NHK大河ドラマ「真田丸」を活用した観光事業の取組み。
- (1) 観光関連事業 (観光課)
 - 観光会館の改修、PR活動、ガイド養成 (お城案内)
 - 真田ブランド推進事業 他
 - (2) 上田城跡公園及び周辺整備事業 (公園緑地課)
 - 上田城跡周辺の駐車場整備、公園内施設整備
 - (3) 上田城櫓等展示施設改修事業 他 (都市計画課)
 - (3) 真田地域関連事業
 - 真田氏ゆかりの施設整備、循環バス運行等
 - 真田氏歴史館整備事業等
 - (4) 中心市街地関連事業
 - 中心市街地におけるトイレ、案内看板等の整備等
 - (5) その他の事業
 - 市民会館改修費 (名称: 信州(上田)真田丸大河ドラマ館)
 - 真田丸700モーターショー事業

2. 誘客イベントの推進

- (1) 上田城干本桜まつり (48万人来城)
 - 上田真田まつり (6万人)
 - 上田城けやき紅葉まつり (5万人)
- 大河ドラマ館に付周館95日、20万人に達成
- (詳) 街中には6文銭旗が立ち並び平日にも上田城内や、大河ドラマ館に人並み途絶えずお土産等も大勢居て、我々も毎日急便にて荷物を直ぐに送って頂いた。朝には、玄關口(市役所)で観光関連協議団が陣羽織を着込み、暖かい飲み物を受け委員会室にて名刺交換も行なわれ、10月白石城、小十郎祭りにも来白するとの事。我々も盛大に歓迎したことはこの委員会一同の思いとなつた。

[2] 耕作放棄地対策事業として

ワイン用ぶどう団地農産物直売所

1. 事業導入の経緯

姫川地区にある陣場台地は以前は養蚕のために桑園であった。昭和40年代からは薬用人参が栽培されたが、連作障害や価格の低迷と農家の高齢化等の要因もあり、25haの遊休農地となった。

2. ワイン用ぶどう栽培の導入

企業(メルバンク)がワイン用ぶどう栽培地を探していた所、雨かきが多く日照が陣場地区が候補地となった。地域振興を鑑み、平成12年土地利用研究委員会を組織し、ワイン用ぶどうの導入に地元関係者で協力体制を構築した。

3. 事業の経過

「農業生産法人ラヴィニエ」を農家から土地を借りて事業を開始。平成14年から16年にかけて農地造成やぶどう垣根、苗を植付けた。

4. 今後の展望

近い将来 80%以上の収穫を目指す。遊休荒廃農地化していた農地は、地域の全ての人達に誇りや上田市に新たな魅力や経済的な効果を生み出す。

~~如何~~ 如何に地域の虫喰い状態の遊休農地を再生させるかも今後の課題となる。

大野栄光(記)